
すき。

櫻木 夢羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

すき。

【Zマーク】

Z2390M

【作者名】

櫻木 夢羽

【あらすじ】

好き。君が好き。高慢な君が。どうしようもなく馬鹿な君が。でも、『好き』とは言わないよ。

「お前、俺のこと好きだろ」

何時もの間抜け面を崩して、真剣にあいつは私に言った。だから、私も真剣な顔で『嫌い』と言った。

そうすると、何時もの間抜け面を顔面に貼り付けて、あいつは『嘘吐き』と笑つた。

金持ちの家に生まれて、親に厳しく育てられた私。礼儀作法に、ダンス、音楽に、芸術、護身術。私は、大財閥の名に恥じないよう丹精に作り上げられた人形。生まれる前から結婚相手がいたし、親に撫でてもらつたことも、親と一緒に休日を過ごしたこともない。私は、完璧で、不完全な人間に育つた。

あいつは、私とは真逆だ。

貧しい家庭に生まれて、親に愛されながら育つた。教養なんでものはなく、馬鹿で、間抜けで、どこまでも真っ直ぐで純粹な奴。本当なら、出会うこともなかつた。

「俺のこと、好きって言つたら、愛してやつてもいいぜ」「でも、私達は出会つてしまつた。

貧乏人のくせに、プライドが飽きれるほどに高い、あいつの本性。新しい庭師としてやつて來たあいつは、高慢に私に接した。

「何の冗談かしら。貴方みたいな人、私は嫌いよ」

大嫌いだ。馬鹿のくせに、貧乏人のくせに、落ちこぼれのくせに、

私の心を独占しようとする。大嫌い。

「無駄にプライド高いよな、あんた。人に愛されたこともない人形のくせに」

「貴方に何が分かるの。気楽に生きてきたくせに」

否定はしない。と言うより、できない。だって、本当のことなの

だから。肌の温もりも知らないで育つて、それに憧れたこともない。

「あなたに何が分かるんだ。貧乏人の何が。気楽に、か。それは自分のことだろ、お嬢様」

「知らないわ。あなた達の気持ちなんて、分かりたくないもの」
何で、私は子供みたいにむきになつてているんだろう。何で、拗ねているんだろう。

「明日、結婚することになつたわ」

挙式の前日、何故か私はあいつにそう伝えていた。

「だから、何。あなたが好きなのは、俺だろ」

あいつは、何でもないかのように、そう言つた。それが、無性に腹が立つた。

「何、愛の逃避行でもお望みなわけ。悪いけど、俺は逃げるのなんて嫌だからね」

「何で、私が貴方と逃げる必要があるのよ」

何故か、声が震えた。それを隠すために、足早に其処を去る私に、あいつは何時もの言葉を投げかける。

「あなたが好きなのは、俺だけだろ」

男の子が生まれると、私は用なしとでも言つよつて、片田舎へと追いやられた。

別に、夫を憎んではいない。元から愛してもいいし、なんとも思つてないから。人形扱いされるのにも、慣れている。

『人に愛されたこともない人形のくせに』

ただ、あいつに人形扱いされるのは腹が立つ。

数日後、新しい庭師がきた。あいつだった。

「久しぶり。禁断の恋でもしてみる?」

「何で、貴方なんかと」

追いかけてきたことが鬱陶しかつたし、少しだけ、嬉しかつた。

「知ってる、お前の旦那様、毎日女とつかえひつかえしてるぜ」

「知ってるわよ、そんな事」

「ムカつくなら、クビにしてやればいい。無礼者、と罵つてやればいい。」

「だけど、そんなことしたら、心を許せる人がいなくなる。そう、私は、あいつを利用してるだけ。私の存在を確定させるために。」

「そう思うたびに、胸が少しだけ苦しくなった。所詮、言い訳だ。」

「お前が好きなのは、俺だけだろ」

「そう言って、あいつは今日も笑う。」

(後書き)

結ばれるだけが幸せじゃない。まあ、そんな感じです。
2人が結ばれることは決してありません。生まれ変わったら、なん
てこともあります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2390m/>

すき。

2010年10月21日23時56分発行